

I 平成 25 年度 事業報告書

1 事業の概要

概 況

当協会は、水戸市国際交流センターを拠点とし、国際交流の中核組織として他の国際交流団体等と連携を図りながら、地域における国際交流活動を推進することを目的として平成 7 年 3 月に設立され、市民、関係団体、行政などとの連携を図りながら、多様化する国際交流に対応するための様々な事業を展開してまいりました。

具体的には、海外諸都市との国際交流事業のほか、国際交流団体等の活動への支援や外国人市民への支援に重点を置くとともに、地域住民と外国人との交流の場の創出や各国の文化への理解を深めるための国際理解講座等の開催、多文化共生を中心とした事業の展開に努めてまいりました。

また、水戸市から指定管理者の指定を受けている国際交流センターの適切な管理運営と公益法人にふさわしい事業の展開と組織運営に努めました。

(1) 海外諸都市との国際交流事業

市民間の交流、相互理解、友好親善を目的に、国際親善姉妹都市アナハイム市及び友好交流都市重慶市との交流をさらに深めました。

ア 国際親善姉妹都市アナハイム市との交流

(ア) 第 7 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）受賞

平成 23 年 7 月に実施した国際親善姉妹都市アナハイム市との交流事業「アナハイムからの応援メッセージ展」が、総務省及び財団法人自治体国際化協会が主催する「自治体国際交流表彰(総務大臣賞)」を受賞した。

授 賞 式：平成 25 年 6 月 17 日(月)

場 所：ルポール麴町（東京都千代田区）

受賞事業：「ガンバレ!MITO!～アナハイムからの応援メッセージ展～」

内 容：東日本大震災の被害を受けた水戸市のために、過去に水戸市を訪れたアナハイム市の学生親善大使が中心となり、「水戸市民に励ましの手紙を送るキャンペーン」を実施し、3,000 通を超える手紙が水戸市に届けられた。これらの手紙を展示することにより、市民が姉妹都市交流を身近に感じ、同時にアナハイム市との絆をより深めてもらうとともに、届けられた手紙を通じた交流の促進に取り組んだ。

受賞理由：東日本大震災後にアナハイム市民から寄せられた手紙展の開催等、市民レベルでの交流を促進し、また震災の経験や防災への取組みについて情報を共有した。

(イ) アナハイム市からの特使の受入

期 間：平成 25 年 8 月 27 日(火)～8 月 29 日(木)

特 使：マーク・ロペス氏 (アナハイム市姉妹都市員会委員)

内 容：表敬訪問 (水戸市長)、市内視察 (水戸芸術館、植物園、国際交流センター等)

(ウ) 水戸市学生親善大使の派遣

応募者：26 人(中学生 9 人、高校生 17 人)

選考試験：平成 25 年 6 月 6 日(木) 書類選考、6 月 16 日(日) 面接・集団討論

派遣期間：平成 25 年 7 月 26 日(金)～8 月 11 日(日) 17 日間

内 容：アナハイム市でのホームステイ等を通じて、市民との友好交流、アメリカ合衆国の文化等の学習と体験、報告書発行

派遣人数：13 人(中学生 5 人、高校生 5 人、団長 1 人、協会職員 2 人)

団 長：弘津 千絵 (水戸市立第三中学校教諭)

結 団 式：平成 25 年 7 月 7 日(日)

研 修：事前研修 平成 25 年 7 月 7 日(日)、14 日(日)、21 日(日)

事後研修 平成 25 年 8 月 25 日(日)

(エ) アナハイム市学生親善大使の受入 (中止)

福島原子力発電所の事故による汚染水漏れなど、問題が解決されていないことから、派遣を見合わせたいとのアナハイム市側からの申し出があり、中止となった。

(オ) アナハイム市との教育交流事業

アナハイム市から英語指導助手の受入(採用)に向けて、水戸市教育委員会と連携しながら、アナハイム市関係機関と各種調整を行った。

採用者数：11 人(更新を含む)

採用時期：平成 25 年 4 月 1 日

イ 友好交流都市重慶市との交流

(ア) 重慶市親善訪問団の派遣 (中止)

鳥インフルエンザの流行や大気汚染 (PM2.5) 問題を考慮し、参加者の安全を確保するため、派遣を中止とした。

(イ) 重慶市親善訪問の受入 (中止)

中国国内及び重慶市の諸事情により、重慶市親善訪問団の受入は実施に至らなかった。

(ウ) 重慶市青少年交流事業（中止）

中国国内及び重慶市の諸事情により、青少年交流事業は実施に至らなかった。

(2) 市民の国際交流活動に対する支援

国際交流ボランティア団体等の活動が円滑に行えるように支援するとともに、市民に対し、団体等の交流活動の紹介や講演会などを通して、国際理解を深める啓発事業を行いました。

ア 国際交流のつどいの開催

市民及び外国人市民との交流の場を提供するとともに、市民の国際理解の推進を図った。また、「日本・ボリビア多民族国 外交関係樹立 100 周年」に合わせ、関係団体等と連携し、ボリビアの文化や最新情報を紹介する事業を同時に開催した。

(ア) 各種パネル展の開催

期 間：平成 26 年 2 月 15 日(土)～3 月 22 日(土)

観覧者数：769 人

① 国際交流団体活動紹介パネル展

内 容：水戸市国際交流センターを拠点として活動する国際交流団体等の日頃の活動状況を紹介するパネル展を開催した。

参加団体：15 団体

② ボリビア紹介展

内 容：ボリビアの基本情報や歴史、文化などを知ることができるポスターや写真パネル、出版物、土器、工芸品、民族衣装などを展示した。

協 力：社団法人日本ボリビア協会、株式会社サザコーヒー、東京大学総合研究博物館、公益財団法人茨城県国際交流協会

(イ) 講演会「五感で感じる！ボリビア」の開催

期 日：平成 26 年 2 月 15 日(土)

講 師：福田 大治(チャランゴ奏者、大学講師)

犬伏 青畝(ギター伴奏)

内 容：ボリビアの歴史や文化、社会に関する講演のほか、チャランゴの演奏会を開催した。

参加者数：60 人

(ウ) トークショー「ボリビア音楽の楽しみ」の開催

期 日：平成 26 年 2 月 23 日(日)

講 師：飯田 利夫(株式会社 IBS アナウンサー、ラジオ番組司会者)

内 容：南米の民族音楽「フォルクローレ」のレコードや CD を聞きながら、ボリビア音楽について紹介した。

参加者数：43人

(エ) 講演会「ボリビアで教えたこと・教えられたこと」の開催

期 日：平成26年3月1日(土)

講 師：近藤 桂(陶芸家, 元 JICA 青年海外協力隊員)

協 力：手打ちそば「にのまえ」(南米料理提供)

内 容：青年海外協力隊での経験をもとに、旅行では分からない現地事情やボリビアの文化、人々の生活について紹介した。講演後は、南米料理「ギソ」を試食しながら、講師を囲んでボリビア文化への理解を深める交流会を実施した。

参加者数：40人

イ 国際交流団体連絡会議

ボランティア団体間の情報交換やセンター利用などをテーマとして、水戸市国際交流センターを拠点として国際交流活動をしているボランティア団体の連絡会議を開催しているが、今年度は団体ごとに意見・要望等を把握し、そのつど個別に対応した。

ウ 外国人に日本語指導をしているボランティア団体への支援：MIJ ネットワーク支援

水戸市国際交流センターを拠点として外国人に日本語を指導しているボランティア団体のネットワーク組織である「水戸市国際交流センターボランティア日本語教室ネットワーク(通称：MIJ ネットワーク)」の活動を支援した。

内 容：日本語ボランティア団体が、毎月第2木曜日に行う会議や定期的実施する研修会等の活動を支援した。

研 修 会：①「"Can-do" を取り入れた具体的な授業の進め方—事例案に沿った授業の進め方を中心に—」

期 日：平成25年9月8日(日)

講 師：新野 佳子(公益社団法人国際日本語普及協会)

参加者数：29人

② 文化庁「標準的なカリキュラム案」について—5点セットの説明と教材の使い方—

期 日：平成26年3月9日(日)

講 師：吉田 聖子(公益社団法人日本語教育学会)

参加者数：29人

(3) 国際交流に関する講演・講座・研修等の実施

市民に国際交流及び世界の文化などについて理解を深めてもらうため、各種講座を実施するとともに、国際交流パーティーを開催し、市民と外国人との交流の場の創出に努めました。また、市内小学校や地域団体に国際理解を促すため、外国人を講師として派

遣しました。

ア 国際理解講座の開催

世界各国の生活・文化・歴史等の理解を深めるため、関係団体の協力を得て国際理解講座を開催した。

(ア) 世界の料理講座～つくってみよう世界の料理～

外国人市民を講師として招き、世界の様々な国や地域の料理を通して、それぞれの国の文化や習慣を学ぶ料理講座を開催した。

① パキスタン編

期 日：平成 25 年 9 月 7 日(土)

対 象：一般

内 容：カライ・ゴーシュトゥ(チキンカレー)、ナン、シーコルマ(細パスタとドライフルーツのミルク煮デザート)、チャイといったパキスタンの家庭料理の実習及び文化の紹介を行った。

講 師：ヤスミン・ベガム(カラチ出身)

受講者数：20 人

(イ) 青少年のための国際理解講座

次世代のグローバル社会を担う青少年を対象に、外国語や外国文化に触れる機会を設け、広い視野を持った国際感覚を育むことを目的に講座を開講した。

① 「サマークラス for ジュニア –ガーナ編–」

期 日：平成 25 年 7 月 27 日(土)

対 象：小学生とその保護者

内 容：異文化理解の楽しさを知ってもらい、国際交流のきっかけ作りとなることを目的に講座を開講した。今回は、リズム遊びや英語を使ったゲームを通して、ガーナの文化を学んだ。

講 師：エイキンス・パーコフィー(茨城大学教育学部附属小学校 ALT)

受講者数：64 人(子ども 37 人, 保護者 27 人)

② 学生に伝えたい「私と仕事をつないだ国 –ドイツ編–」

期 日：平成 25 年 12 月 22 日(日)

対 象：中学生, 高校生

内 容：海外での経験を活かし、市内で仕事をしている方を講師に迎え、夢を実現するまでの経験談や異文化体験について講演した。

講 師：池田 誠子(ドイツフローリストマイスター、「憧れ花のアトリエ」経営者)

受講者数：18 人(中学生 5 人, 高校生 13 人)

(ウ) 世界の歩き方講座

各分野の専門家を講師として招き、世界の文化、歴史、社会、そして現地の歩き

方などを学ぶことを通して、国際理解を深めることを目的とした講座を開催した。

① ハプスブルク帝国編

期 日：平成25年7月17日(水)、24日(水)

対 象：一般

内 容：ハプスブルク帝国の中心であったオーストリアやその周辺諸国に焦点をあて、帝国の足跡や文化遺産、各国の歴史・文化、街の楽しみ方などについて理解を深めた。

第1部(7/17)：オーストリアとその首府ウィーン

第2部(7/24)：帝都の失われし遺産を残す東欧諸国

講 師：大島 規江（茨城大学教育学部准教授）

受講者数：66人

② イタリア編

期 日：平成25年10月9日(水)、10月16日(水)

対 象：一般

内 容：イタリアに焦点をあて、音楽・声楽の話題などを中心に、歴史や文化、街の楽しみ方などについて理解を深めた。

第1部(10/9)：イタリアの音とリグーリアの色

第2部(10/16)：東リヴィエラの海と食

講 師：谷川 佳幸（茨城大学教育学部准教授、テノール歌手）

受講者数：74人

③ 北部イングランド・スコットランド編

期 日：平成26年3月4日(火)、11日(火)

対 象：一般

内 容：北部イングランドとスコットランドに焦点をあて、街の魅力と英国の楽しみ方などについて理解を深めた。

第1部(3/4)：北部イングランド探訪

第2部(3/11)：「蛍の光、窓の雪」～スコットランドとは

講 師：高妻 孝光（茨城大学大学院理工学研究科教授）

受講者数：71人

(エ) ホビングリッシュ講座

「ホビー(趣味)」と「イングリッシュ(英語)」を合わせた造語「ホビングリッシュ」。毎回異なったテーマを取り上げ、外国人講師とともに英語で取り組むことにより、参加者が自然な英会話を楽しみ、講師との交流から外国文化への理解を深めることを目的として実施した。

① スペイン編

期 日：平成 25 年 11 月 30 日(土)

対 象：一般（英語初級者向け）

内 容：スペインの小皿料理「タパス」作りを通して、スペインの食文化や生活習慣などについて英語で学んだ。

講 師：エルネスト・ホアキン(水戸市英語指導助手)

受講者数：20 人

② ケーキポップス編

期 日；平成 25 年 12 月 15 日(日)

対 象：一般（英語初級者向け）

内 容：アメリカで人気のお菓子「ケーキポップス」作りを中心に、アメリカの文化について英語で学んだ。

講 師：メリー・マーガレット・フィッシュ(水戸市英語指導助手)

受講者数：18 人

③ CM で見える文化比較編

期 日：平成 26 年 2 月 1 日(土)

対 象：一般（英語中上級者向け）

内 容：北米のコマーシャル（CM）を題材に、CMを通して見られる文化の違いなどを英語で学び、異文化について理解を深めた。

講 師：ジョイス・カニンガム（茨城大学名誉教授）

受講者数：24 人

(オ) 親と子の国際講座（水戸ユネスコ協会青年部と共催）

小学生とその保護者を対象に、外国や日本の文化に触れることを通して、相互理解の精神を身につけ、多様な社会や文化の中で共に生きていく力を楽しみながら育むことを目的に実施した。

① なりきり！世界体験ツアー

期 日：平成 25 年 6 月 29 日(土)

対 象：小学生とその保護者

内 容：世界 6 つの国(エジプト、フランス、インドネシア、カンボジア、ペルー、オーストラリア)を取り上げ、各国の風土・国旗・文化・世界遺産についてクイズ形式で学ぶとともに、ペルーの料理「ソパ・ミヌータ(野菜スープ)」作りを留学生と体験した。

受講者数：38 人（子ども 22 人，保護者 16 人）

② 発見！世界の歌と踊り

期 日：平成 25 年 12 月 7 日(土)

対 象：小学生とその保護者

内 容：身近な材料を使って外国の楽器を作製したり、欧米の童謡やダンスを学ぶなど、各国の文化や特色を肌で感じながら国際理解を深めた。

受講者数：17人（子ども10人，保護者7人）

（カ）国際理解のつどい（メサフレンドシップと共催）

期 日：平成25年12月8日（日）

対 象：一般

内 容：国際交流の最前線で長年活躍されてきた岩本郁子氏（茨城県国際交流協会事務局長）を講師に迎え、民間団体と行政の両視点から、国際交流について講演を行った。

参加者数：70人（うち外国人7人）

イ 国際交流パーティーの開催

市内及び水戸市近郊に在住する外国人市民と地元市民がお互いの文化を紹介し体験するとともに、交流パーティーを通して相互理解を深めることを目的として開催した。

（ア）花火鑑賞会

期 日：平成25年8月2日（金）

内 容：花火大会（黄門まつり）の鑑賞を通して、地域住民と外国人市民との交流を図った。

参加者数：104人（うち外国人53人）

（イ）お月見パーティー（ラブニールと共催）

期 日：平成25年10月5日（土）

内 容：お月見をテーマに日本文化（着付け、けん玉、書道、折り紙、茶道）を紹介したほか、地域住民と外国人市民との交流を図った。

参加者数：139人（うち外国人62人）

（ウ）新春パーティー（ラブニールと共催）

期 日：平成26年1月25日（土）

内 容：日本語教室の生徒による発表会を行ったほか、地域住民と外国人市民との交流を図った。

参加者数：100人（うち外国人47人）

ウ 国際理解のための外国人紹介

国際理解推進のため、市内の学校や公的機関等が、国際交流に関する講座等を開催する際に外国人市民を紹介した。

紹 介 数：11件（小学校7件，高校3件，その他の公的機関等1件）

紹介者数：24人

(4) 外国人市民に対する支援

外国人市民や留学生に対し、水戸市や日本の文化の良さを理解してもらうため、各種事業を行い、相互理解を深めました。

ア どうようサロンの開催

(ア) どうようサロンーマルチリンガルー

国籍や言語に捉われない交流の機会を提供し、市民の国際感覚の醸成や国際理解の増進を図ることを目的に、毎月第1土曜日などに開催した。

	期 日	参加人数
1	平成25年4月6日(土)	28人(うち外国人2人)
2	5月4日(土)	22人(うち外国人2人)
3	6月1日(土)	33人(うち外国人3人)
4	7月6日(土)	37人(うち外国人6人)
5	8月3日(土)	26人(うち外国人6人)
6	9月7日(土)	23人(うち外国人4人)
7	10月12日(土)	27人(うち外国人5人)
8	11月2日(土)	31人(うち外国人8人)
9	12月7日(土)	35人(うち外国人5人)
10	平成26年1月4日(土)	18人(うち外国人1人)
11	2月1日(土)	23人(うち外国人7人)
12	3月1日(土)	31人(うち外国人4人)
	合 計	334人(うち外国人53人)

(イ) 韓国語どうようサロン～トコトン韓国～

気軽に韓国語を使える機会を提供するとともに、韓国出身の市民を交えて、相互理解を図ることを目的に毎月第3土曜日などに開催した。

	期 日	参加人数
1	平成25年4月20日(土)	27人(うち外国人9人)
2	5月18日(土)	27人(うち外国人8人)
3	6月15日(土)	16人(うち外国人4人)
4	7月20日(土)	12人(うち外国人1人)
5	8月10日(土)	12人(うち外国人1人)
6	9月21日(土)	12人(うち外国人1人)
7	10月19日(土)	6人(うち外国人0人)
8	11月16日(土)	9人(うち外国人3人)

9	12月21日(土)	16人(うち外国人4人)
10	平成26年1月18日(土)	15人(うち外国人2人)
11	2月15日(土)	4人(うち外国人0人)
12	3月15日(土)	12人(うち外国人0人)
	合 計	168人(うち外国人33人)

(ウ) 中国語どうようサロン～ニーハオ！中国～

気軽に中国語を使える機会を提供するとともに、中国出身の市民を交えて、相互理解を図ることを目的に毎月第4土曜日などに開催した。

	期 日	参加人数
1	平成25年4月27日(土)	10人(うち外国人4人)
2	5月25日(土)	11人(うち外国人3人)
3	6月22日(土)	12人(うち外国人0人)
4	7月27日(土)	17人(うち外国人5人)
5	8月31日(土)	14人(うち外国人1人)
6	9月28日(土)	9人(うち外国人3人)
7	10月26日(土)	6人(うち外国人0人)
8	11月23日(土)	12人(うち外国人1人)
9	12月14日(土)	14人(うち外国人5人)
10	平成26年1月11日(土)	13人(うち外国人1人)
11	2月22日(土)	12人(うち外国人4人)
12	3月22日(土)	8人(うち外国人1人)
	合 計	138人(うち外国人28人)

イ 子どものための日本語ボランティア学校派遣

水戸市教育委員会と連携しながら、日本語指導を要する在住外国人の子どもを対象に、ボランティアが市立小・中学校へ出向き、日本語を指導した。また、団体が行う定例会や定期的実施する研修会等の活動を支援した。

(ア) 日本語ボランティア学校派遣

対象児童・生徒数：11人

ボランティア数：10人

派遣学校：梅が丘小学校、城東小学校、新荘小学校、浜田小学校、稲荷第一小学校、妻里小学校、国田小学校、見川中学校、笠原中学校

派遣回数：832回(夏期補習を含む)

(イ) 定例会

毎月第1・2・3木曜日に定例会を開催した。(場所：水戸市国際交流センター)

ウ 外国人のための日本文化体験事業の実施

(ア) 外国人のための日本料理教室

期 日：平成25年11月9日(土)

対 象：外国人

内 容：そば打ち体験を通して日本の伝統料理に親しむとともに、日本文化への理解を深め、日本での生活を豊かにすることを目的として実施した。

講 師：鈴木 洋(茨城蕎麦の会会員)

参加者数：14人

(イ) 外国人のためのスキー体験教室(水戸市役所スキー部協力)

期 日：平成26年2月21日(金)

対 象：外国人

会 場：エーデルワイススキーリゾート(栃木県日光市)

内 容：雪に触れる機会の少ない外国人にスキー体験教室を通して、日本の自然の良さを知ってもらうとともに、外国人同士の親睦・交流を図ることを目的として実施した。

講 師：水戸市役所スキー部員3人

参加者数：23人

(ウ) 外国人のための市内ウォッチング

期 日：平成25年11月21日(木)

対 象：外国人

内 容：外国人市民に水戸市の公共施設などを知ってもらい、今後積極的に利用してもらうとともに、参加者同士の交流を深めることを目的として実施した。大串貝塚や「水戸八景」などを見学したほか、水戸市及び近郊の食や観光地の魅力を知ってもらうため、生産現場を見学した。

訪 問 先：明利酒類「別春館」酒蔵見学(水戸市元吉田町)、大串貝塚ふれあい公園散策(水戸市塩崎町)、水戸八景「水門帰帆」(ひたちなか市和田町)、那珂湊おさかな市場(ひたちなか市湊本町)、水戸八景「巖船夕照」(大洗町祝町)、大洗リゾートアウトレット(大洗町港中央)、かねふくめんたいパーク(大洗町磯浜町)

参加者数：14人

(エ) 外国人のための日本酒造り体験(吉久保酒造株式会社協力)

期 日：平成26年1月19日(日)

対 象：外国人

内 容：日本酒造りを通して、日本の文化や習慣について理解を深めた。

参加者数：3人

エ 生活ガイドブック、英文地図の提供

英語と日本語併記の水戸市の生活ガイドブック（GUIDEBOOK FOR LIVING IN MITO）、英語で表記された水戸市の地図（MITO CITY GUIDE MAP）を頒布した。

オ 外国人のための防災対策事業

地震などの災害が発生した際、外国人が文化や習慣、言葉の違いから大きな被害を受けてしまうことを防ぐため、防災意識の啓発や防災対策事業を行った。

（ア）防災訓練

火災、地震発生時に適切で迅速な対応ができるよう大地震を想定し、地震及び火災の避難訓練や初期消火の訓練を行った。

① 6月期

期 日：平成25年6月20日(木)

参加者数：11人(外国人1人、ボランティア等1人、協会役職員9人)

② 12月期

期 日：平成25年12月14日(土)

参加者数：63人(外国人34人、ボランティア・警察署員等19人、協会役職員10人)

（イ）非常食体験(日本赤十字社語学奉仕団協力)

内 容：防災訓練後、日本赤十字社語学奉仕団の協力を得て、災害時の非常食(アルファ米、缶詰、ペットボトル水)の説明を行うとともに、試食会を実施した。

期 日：平成25年12月14日(土)

参加者数：63人(外国人34人、ボランティア・警察署員等19人、協会役職員10人)

（ウ）防災意識啓発事業「防災ノート」作成への協力

水戸市と市民団体「みと男女平等参画を考える会」が、協働して実施した「外国人市民のための防災ノート」作成事業に協力した。

協力内容：外国人市民からの聞き取り調査(8月29日、10月5日)、翻訳コーディネートなどに協力した。

（エ）英語版避難場所地図／防災マニュアルの提供

英語で表記された水戸市内の避難場所地図及び地震などに対する防災マニュアルの頒布を行った。(水戸市英文地図に掲載)

カ 外国人のための生活情報紙(Culture Pot MITO)の発行

水戸市に住む外国人に対して、生活に役立つ情報をわかりやすく届けるとともに、水戸市への理解を深めてもらうことを目的として、隔月の生活情報紙を発行した。

発行言語：ルビ付日本語版・英語版

号	内 容
2013年4・5月号	・自動車税, 水戸市のバスの乗り方, 日本語教室などの生活情報 ・イベント情報, みと散策(水戸城) 等
2013年6・7月号	・病院の受診方法, 医療福祉費制度などの生活情報 ・イベント情報, 労働条件の相談, みと散策(旧町名①) 等
2013年8・9月号	・台風対策, 熱中症予防, 浴衣の着付け方などの生活情報 ・イベント情報, 花火大会特集, みと散策(旧町名②) 等
2013年10・11月号	・交通ルール, インフルエンザ予防接種などの生活情報 ・イベント情報, みと散策(銭谷稲生神社) 等
2013年12月・ 2014年1月号	・所得税(年末調整), 日本語教室(冬休み)などの生活情報 ・イベント情報, みと散策(偕楽園の梅) 等
2014年2・3月号	・消費税, 確定申告, 日本語教室などの生活情報, ・イベント情報, 無形文化遺産(日本食文化), みと散策(納豆) 等

キ メール配信による情報の提供

メール配信を希望する外国人市民に対して、市内及び近隣市町村で行われるイベントや生活情報など、役に立つ最新情報を提供した。

配信言語：やさしい日本語(ルビ付き), 英語

対 象：外国人市民(配信希望者)

内 容：当協会実施の国際交流イベント情報(国際交流パーティー, 日本文化体験教室, 防災訓練 ほか), 一般イベント情報(元旦マラソン, 朝市, 梅・桜まつり ほか), 生活情報(無料電話相談, 消費税増税 ほか)

配信回数：28回

ク 相談窓口の常設

国籍等を問わず、生活様式や習慣などの違いから生じる悩みなどの相談に対し、アドバイスや情報を提供した。

内 容：運転免許証の取得・書き換えに関すること, 住宅に関すること, 在留資格に関すること, 国内外における投資・会社経営に関すること, 労使間のトラブルに関すること, 就職, 日本語学習, ボランティア活動, 翻訳に関すること など

相談者数：390人(うち外国人284人)

相談件数：390件(電話・電子メール相談146件, 来館相談244件)

(5) 国際交流に関する情報・資料の収集及び提供

外国や日本の文化, 国際交流等に関する図書, 資料等を広く集め, 市民や外国人に

提供し、また機関紙及びホームページなどにより、情報の発信に努めました。

ア 協会機関紙等による情報発信

(ア) 協会機関紙の発行

① 日本語版：4回発行(5月、8月、11月、3月：各2,000部作成)

市内公共施設、姉妹都市関係者及び寄付者などを中心に送付

5月(45号)	平成25年度の事業計画
8月(46号)	自治体国際交流表彰(総務大臣賞)受賞
11月(47号)	水戸市学生親善大使派遣、どようサロン特集 等
3月(48号)	国際交流のつどい、外国人市民のためのイベント、特集：外国人から見た日本 等

② 3か国語版(英語・中国語・ハンゲル)：年1回発行(5月：1,000部作成)

外国人市民等に配布

5月(11号)	平成25年度の事業計画
---------	-------------

(イ) 広報資料の頒布

情報発信の一環として、協会のエコバッグ、クリアファイル、英文地図といった広報用資料を頒布した。

イ 図書・資料等の収集及び提供

日本語教室用の教科書や国内外の図書及び資料等を収集し、提供した。

ウ パソコンの利用・提供

情報コーナーにパソコンを設置し、来館者に提供した。

パソコン利用：436件(うち外国人317件)

エ ホームページによる情報提供

ホームページによる協会の最新情報、事業内容、運営情報等を提供した。

訪問者数：21,177件

タイトル	内容
「日本発見記」	外国人市民へのインタビューを行い、自国の文化や生活習慣と比較しながら、日本の印象や就労、教育、子育てなどをテーマとした日本での生活について聞いた。(計6回)

(6) 国際交流基金等の造成

市民からメモリアルプレート設置に協賛をいただき、基金の造成に努めました。

ア 一般寄付

1 件 50,000 円

(7) 水戸市国際交流センターの管理及び運営の受託

水戸市から国際交流センターの管理及び運営を委託され、市民から親しまれる施設として管理運営に努めました。

ア センターの管理及び運営

(ア) センターの利用状況

区 分	件 数	人 数
国際交流関係	1,652 件	31,472 人
一 般	684 件	12,446 人
そ の 他	66 件	1,575 人
合 計	2,402 件	45,493 人 (うち外国人数8,874 人)

開館日数：281 日

※ 空調修繕工事(2 階北側)のため、平成 25 年 8 月 11 日(日)～8 月 24 日(土)まで臨時休館とした。

(イ) センターの管理運営

① 施設利用受付及び貸出し業務

研修室等の貸出し、使用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を行い、利用者に快適なサービスを提供した。

② 施設利用促進業務

ホームページによる情報提供を行い、効率的・効果的な利用促進を図った。また、来館する外国人に対応するため、語学に堪能な職員を配置し、それぞれのニーズに応えられるよう努めた。

③ 図書コーナーの管理業務

外国に関する情報、外国語の図書、日本語教育に関する教材、外国語新聞、ビデオなど国際交流に関するさまざまな情報の収集及び適切な管理を行うとともに、来館者への閲覧及び貸出し業務を行った。

④ 施設・設備の維持管理及び補修業務

国際交流センターの施設及び設備を総合的に管理し、効果的な管理運営を図るとともに、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び修繕を行った。

◇ 施設環境衛生管理業務

施設的美観を維持し、センターの利用者に対し快適な空間を提供するため、

下記の業務を行った。

- ・日常清掃業務 休館日を除く毎日
- ・定期清掃業務 年2回 <6月, 11月>
- ・害虫防除業務 年1回 <3月> ※ 調理室のみ
- ・排水設備清掃業務 年1回 <3月>
- ・植物管理業務 月1回

◇ 設備保守点検業務

来館者が安全で快適に利用できるよう関係法令や保安規定等に基づき、またはそれに準じて点検・清掃・測定・検査等を実施した。

- ・空調及び給水設備保守点検業務 年2回 <6月, 11月>
- ・飲料水水質検査 年1回 <3月>
- ・消防設備保守点検業務 年2回 <6月, 12月>
- ・エレベーター設備保守点検業務 年4回 <4月, 7月, 10月, 1月>
- ・エレベーター設備遠隔監視業務 毎日
- ・自動ドア保守点検業務 年3回 <7月, 11月, 3月>
- ・自家用電気工作物保安管理業務 隔月1回

◇ 施設警備業務

施設での盗難、火災その他侵入者の不法行為等による事故発生を未然に防止するとともに、万一事故が発生した場合には迅速かつ適切な措置により、被害を最小限にとどめるよう、勤務時間内については職員が館内及び敷地内を定期的に見回り、夜間及び休館日については、警備会社による機械警備及び巡回警備を行った。

(ウ) 施設整備(修繕等)への対応

① 空調設備修繕工事

設備老朽化に伴い、2階北側(事務室及び交流展示室)の空調設備が故障し、調査の結果、修繕ができない状況であったため、当該箇所の交換修繕工事を行った。

② センター正面外階段修繕工事

経年劣化に伴って、階段内部のコンクリートが表面に流れ出たことにより、タイルの浮きが確認されたことから、全面補修工事を行った。

(8) その他

ア 公益法人運営関連業務

公益法人関連三法に基づき、次の業務を行った。

(ア) 役員等の変更による行政庁(茨城県)への改変手続及び登記(6月, 10月)

(イ) 行政庁(茨城県)への定期提出書類(平成24年度事業報告及び収支決算書)の提出(6月)

(ウ) 行政庁(茨城県)への定期提出書類(平成26年度事業計画及び収支予算書)の提出(3月)

イ インターンシップ、職場体験等の受入

学生等の就業意識の向上を図りながら、当協会や国際交流に対する理解の増進を図ることを目的として、地域の学生を就業体験者として受入れた。

受入数：2件3人(大学生1人，高校生2人)

(ア) 大学生

茨城大学人文学部社会科学科2年 女性1人

期 間：平成25年8月2日～4日，10日，25日，27日～31日(10日間)

実習内容：事務補助，国際交流事業準備及び運営補助等

(イ) 高校生

茨城県立水戸商業高等学校2年 女性2人

期 間：平成25年10月3日，4日(2日間)

実習内容：日本語教室参加，国際交流事業準備，事務及び施設管理補助，
資料・図書整理 等

ウ 視察の受入

国際理解の促進及び国際交流活動の活性化に向けた研修などを目的とした視察研修団を受入れた。

(ア) 水戸西ロータリークラブ

期 日：平成25年4月10日(水)

内 容：当協会事業概要，姉妹都市交流，施設見学 など

受入人数：60人

(イ) 東海村国際センター

期 日：平成25年8月27日(火)

内 容：組織の法人化(公益法人制度)に関する諸問題，指定管理者制度に伴う
管理業務受託運営，当協会事業概要 など

受入人数：10人

(ウ) 田村市国際交流協会(福島県)

期 日：平成26年3月16日(日)

内 容：国際交流のつどい及び施設見学，当協会事業概要(資料提供)

受入人数：20人

(エ) 行方市国際交流協会

期 日：平成26年3月22日(土)

内 容：どようサロン及び施設見学，当協会事業概要 など

受入人数：12人

2 組織及び運営状況

(1) 役員等について

ア 評議員体制(平成26年3月31日現在)

敬称略, 順不同

役名	氏名	就任年月日
評議員	加納 昌子	平成24年6月20日
評議員	櫻庭 紀久子	平成23年7月1日
評議員	川瀬 由紀子	平成23年7月1日
評議員	谷 萩 紀行	平成24年6月20日
評議員	西連寺 節子	平成23年7月1日
評議員	掛札 真俊	平成23年7月1日
評議員	内田 久美子	平成23年7月1日
評議員	上村 洋美	平成23年9月14日
評議員	茂木 好美	平成23年7月1日
評議員	小倉 克夫	平成23年7月1日
評議員	立原 祐司	平成23年7月1日
評議員	幡谷 浩史	平成23年7月1日
評議員	根岸 孝雄	平成23年7月1日
評議員	瀬谷 和人	平成23年7月1日
評議員	小泉 光子	平成23年7月1日
評議員	片桐 康弘	平成23年7月1日
評議員	金 光男	平成25年6月26日
評議員	増子 健一	平成23年7月1日
評議員	クレイ・バッセンジャー	平成23年7月1日
評議員	朴 美貞	平成23年7月1日
評議員	岩本 郁子	平成23年7月1日
評議員	多木 洋一	平成24年6月20日
評議員	佐藤 則行	平成23年9月14日

評議員23名

イ 役員体制(平成26年3月31日現在)

敬称略, 順不同

役名	氏名	就任年月日
理事長(代表理事)	幡谷 祐一	平成7年3月24日
副理事長(代表理事)	大野 文雄	平成8年5月20日
常務理事(業務執行理事)	住谷 正敏	平成24年4月1日
理事	黒澤 輝子	平成19年4月1日
理事	田口 文明	平成23年9月14日
理事	小泉 康二	平成25年6月26日
理事	依田 泉	平成21年4月1日
理事	秋山 高志	平成23年4月1日
理事	桂 秀明	平成19年4月1日
理事	小田部 卓	平成21年4月1日
理事	橋本 耐	平成20年4月1日
理事	田尻 充	平成19年4月1日
理事	本多 清峰	平成25年3月27日
理事	秋葉 宗志	平成24年6月20日
監事	栗原 孝祐	平成19年4月1日
監事	会沢 俊郎	平成25年6月26日

理事14名, 監事2名

ウ 役員等の異動

異動年月日	役名	氏名	備考
平成25年6月26日	評議員	金光男	就任
平成25年6月26日	評議員	鈴木敦	退任
平成25年6月26日	理事	渡辺政明	退任
平成25年6月26日	理事	土肥公仁	退任
平成25年6月26日	理事	小泉康二	就任
平成25年6月26日	監事	荒井宰	退任
平成25年6月26日	監事	会沢俊郎	就任
平成26年3月8日	理事	荘司治	逝去

(2) 議決(報告)事項

ア 評議員会

議決年月日	議決(報告)番号	件名
平成25年6月26日	報告第1号	平成24年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業報告
	議案第1号	平成24年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支決算
	議案第2号	公益財団法人水戸市国際交流協会理事の選任
	議案第3号	公益財団法人水戸市国際交流協会監事の選任
	議案第4号	公益財団法人水戸市国際交流協会評議員の選任

イ 理事会

議決年月日	議決(報告)番号	件名
平成25年5月29日	議案第1号	平成24年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業報告
	議案第2号	平成24年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支決算
	議案第3号	平成25年度公益財団法人水戸市国際交流協会定時評議員会の招集
	議案第4号	公益財団法人水戸市国際交流協会基金規程の一部を改正する規程
	議案第5号	公益財団法人水戸市国際交流協会職員就業規則
	議案第6号	公益財団法人水戸市国際交流協会嘱託員就業規程を廃止する規程
	議案第7号	公益財団法人水戸市国際交流協会嘱託員就業規則
	議案第8号	公益財団法人水戸市国際交流協会臨時職員就業規程を廃止する規程
	議案第9号	公益財団法人水戸市国際交流協会臨時職員就業規則
	議案第10号	公益財団法人水戸市国際交流協会再雇用規程
	議案第11号	公益財団法人水戸市国際交流協会給与及び旅費規程を廃止する規程
	議案第12号	公益財団法人水戸市国際交流協会給与規程
	議案第13号	公益財団法人水戸市国際交流協会出張旅費規程
	議案第14号	公益財団法人水戸市国際交流協会職員の育児・介護休業等に関する規則を廃止する規則
	議案第15号	公益財団法人水戸市国際交流協会育児・介護休業規程
平成25年6月26日 (決議の省略)	報告第1号	業務執行状況報告
	議案第16号	公益財団法人水戸市国際交流協会代表理事の選定
平成26年3月20日	議案第17号	公益財団法人水戸市国際交流協会業務執行理事の選定
	議案第18号	平成26年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業計画
	議案第19号	公益財団法人水戸市国際交流協会基金の取崩
	議案第20号	平成26年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支予算
	報告第2号	業務執行状況報告

(3) 庶務事項

ア 法人登記

登記年月日	登記事項	内 容
平成25年5月1日	理事の退任登記	鯨 岡 武
	理事の就任登記	本 多 清 峰
平成25年7月30日	評議員の退任登記	鈴 木 敦
	理事の退任登記	渡 辺 政 明 土 肥 公 仁
	監事の退任登記	荒 井 宰
	評議員の就任登記	金 光 男
	理事の就任登記	小 泉 康 二
	監事の就任登記	会 沢 俊 郎
	理事の重任登記	幡 谷 祐 一 大 野 文 雄 住 谷 正 敏 黒 澤 輝 子 田口(郡司) 文 明 依 田 泉 荘 司 治 秋 山 高 志 桂 秀 明 小 田 部 卓 橋 本 耐 田 尻 充 本 多 清 峰 秋 葉 宗 志
	代表理事の重任登記	幡 谷 祐 一 大 野 文 雄